

2019/6/21 第115回日本精神神経学会シンポジウム
「精神医学における価値の諸相」

「精神医学における 医学的問題と社会的問題の 線引き」

本発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

鈴木貴之
(東京大学大学院総合文化研究科)

1

問い

- 精神医学は価値中立的か？
- 精神医学は**道徳的価値**に関して中立的か？
- 社会的問題の医療化という批判にどう応答できるか？

2

前提

- 精神疾患の定義に何らかの価値が含まれることは認める。(cf. Wakefield 1992; APA 2013)
- 精神疾患とそうでないものの線引きが明確でないことも認める。

3

1 問題

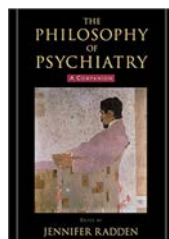
2 4つの提案

3 考察

4

DSMへの批判：Charland 2004

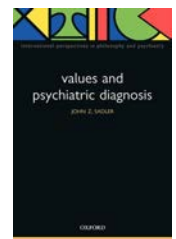
- パーソナリティ障害B群に分類される精神疾患は、その特徴づけに道徳的な語彙が不可欠。その治療にも道徳的变化が不可欠。それゆえ、それらは医学的なカテゴリーではなく、道徳的なカテゴリー。



5

DSMへの批判：Sadler 2005

- 精神疾患の診断は道徳的価値判断にもとづくものであるべきではない。
- Moral Wrongness Test：ある疾患の診断基準を道徳的でない語彙で再定義化できるか？
 - 小児性愛、ギャンブル障害、窃盗症、反社会性パーソナリティ障害などは精神疾患から除外すべき。



6

問題は...

- かつて精神疾患に分類されていたもの：
 - ドラペトマニア、同性愛、政治的抵抗
- 現在精神疾患に分類されているもの：
 - 小児性愛、窃盗症、ギャンブル障害、反社会性パーソナリティ障害

7

→何らかの客観的な基準にもとづいて、前者を精神疾患から除外し、後者を精神疾患に含めることは可能だろうか？

8

1 問題

2 4つの提案

3 考察

9

提案①：害を非道徳的に定義する

- 精神疾患＝有害な機能不全
 - 害＝「社会的、職業的、または他の重要な活動における意味のある苦痛または機能低下」(DSM-5)
 - 害＝死、苦痛、障害、自由の喪失など (Gert and Culver 2004)

10

• 問題：

- 害を狭く定義すると→反社会性パーソナリティ障害や小児性愛は精神疾患ではない？
- 害を広く定義すると→逮捕がもたらす苦痛なども害に含めれば、ある社会では同性愛や政治的抵抗も精神疾患になってしまうのでは？

11

提案②：精神疾患を生物学的に定義する

- 疾患＝生物学的な機能不全をもたらす状態 (Boorse 1976)

12

- 問題：

- 機能不全を純粋に生物学的に定義すると→反社会性パーソナリティ障害は精神疾患と言えなくなり、同性愛は精神疾患に含まれてしまうのでは？
- よりゆるやかに定義すると→提案①に帰着する。

13

提案③：精神疾患を心理学的に定義する

- 精神疾患＝意思決定に関する異常 (cf. Fulford 1989; Morse 2008)

14

- 問題：

- 意思決定の異常を狭く定義すると→反社会性パーソナリティ障害や小児性愛は精神疾患ではないことになるのでは？
- 意思決定の異常を広く定義すると→日常的な意志の弱さも精神疾患になってしまうのでは？

15

提案④：プラグマティズム

- 精神疾患＝有害な状態のうち、精神医学の対象とすることが有益であるもの

16

- 問題：

- 治療不可能なものは精神疾患ではない？
- 精神医学の進歩によって医療化が進む？

17

1 問題

2 4つの提案

3 考察

18

考察①：悪と精神疾患の線引き

- いずれの基準によっても、現在よりも禁欲的な線引きまたは現在よりも包括的な線引きが帰結する？

19

- 精神疾患の単純な定義を求めるのが間違い？ (cf. Zachar 2014)
 - しかし、正当な医療化と不当な医療化の場当たり的でない区別は必要では？



20

考察②：悪の医療化

- 一方で：道徳性にも生物学的な基盤があるとするれば、悪を生物学的な異常の一種と考えることは自然。

21

- 他方で：「極端な悪はそうであるがゆえに精神疾患である」という考えは受け入れがたいのでは？
 - 悪の医療化は、**責任をめぐる社会实践**に対する脅威。

22

- 背景にある哲学的問題＝因果的決定論と自由意志
 - 従来の方：自由意志にもとづくもの＝悪
そうでないもの＝精神疾患
 - どちらも生物学的なメカニズムの産物だとしたら、両者をどう区別できるのか？

23

まとめ

- 何らかの客観的な基準にもとづいて、現在のよ様な仕方で精神疾患の境界を画定することは困難。
- 精神医学の発展によって、悪の医療化は促進されるかもしれない。
- 悪の医療化と責任をめぐる社会实践の間には、深刻な緊張がある。

24

参考文献

American Psychiatric Association (2013) *Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fifth Edition*. American Psychiatric Association Publishing. (アメリカ精神医学会『DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル』医学書院、2014年)

Boorse, C. (1976) What a Theory of Mental Health Should Be. *Journal of Theory of Social Behavior*. 6(1): 61-84.

Charland, L. (2004) Character: Moral Treatment and the Personality Disorders. in Radden 2004.

Fulford, K.W.M. (1989) *Moral Theory and Medical Practice*. Cambridge: Cambridge University Press.

Gert, B., and Culver, C. (2004) Defining Mental Disorder. in Radden 2004.

25

Morse, S. (2008) Vice, Disorder, Conduct, and Culpability. *Philosophy, Psychiatry, and Psychology*. 15(1): 47-49.

Radden, J. (ed.) (2004) *The Philosophy of Psychiatry: A Companion*. Oxford: Oxford University Press

Sadler, J. (2005) *Values and Psychiatric Diagnosis*. Oxford: Oxford University Press.

Wakefield, J. (1992) The Concept of Mental Disorder: On the Boundary between Biological Facts and Social Values. *American Psychologist*. 47(3): 373-388.

Zachar, P. (2014) *A Metaphysics of Psychopathology*. Cambridge, MA: MIT Press. (ピーター・ザッカー『精神病理の形而上学』学樹書院、2018年)

26